

2023年度「学生大使」派遣プログラムにチャレンジしよう(学際) 基盤教育科目・前期集中講義【募集要項】

1. 目的

本学の海外拠点校（ベトナム国家農業大学、ガジャマダ大学又は新モンゴル学園）に一定期間、「学生大使」として滞在し、日本語を教えながら日本文化や山形大学を紹介すると同時に、相手国文化・実情を学びつつ、現地学生との交流を通して「グローバル人材」に必要な能力を習得する。

※日本における水際対策は令和5年5月8日をもって終了していますが、本学の活動指針や派遣先の各国政府機関により講じられている措置等を踏まえて実施します。

2. 授業の到達目標

- ① 多様な価値観などに直に触れることにより、自らのそれらを対象化できるようになる。
- ② 外国人とのコミュニケーション能力を向上させることができる。

3. 開講学年と受講条件

(1) 全学年

※ 医学部、工学部、農学部の上の2年次以上の学生は小白川キャンパス開講科目を履修できない可能性があるため、在籍する学部の学生便覧、履修心得等、ガイダンス等をよく確認の上、申請すること。

- (2) 現地実習中、健康面を含めた必要な自己管理ができること。
- (3) 海外・異文化体験による意識の変化を測る BEVI テストを受験すること。
- (4) 申請期限（2023年6月13日）までにパスポートを取得すること。

※留学生については、母国への派遣は認めない。

4. 派遣先大学と支援内容

渡航補助金として、下記金額を派遣学生（初回派遣のみ）へ帰国後に支給する。

派遣先大学	定員	支援内容
ベトナム国家農業大学（ベトナム）	15名程度	渡航補助金 6万円
ガジャマダ大学（インドネシア）	15名程度	渡航補助金 7万円
新モンゴル学園（モンゴル）	10名程度	渡航補助金 6万円

※₁ 現地との往復航空便を大学が指定します。

※₂ 宿泊先及び現地空港からの送迎は、山形大学において、手配し、費用は各自が現地で支払うこととなります。

※₃ 過去に本プログラムで渡航補助金の支給を受けたことがある場合、再度の経費支援を受けることはできません。

5. 講義スケジュール

	月日	時間	内容	場所
オリエンテーション	6月26日(月)	16:30~ 18:00	渡航前オリエンテーション	基盤2号館 211教室
第1回	8月7日(月)	9:00~ 10:30	現地事情講義(予定) 危機管理対応等	基盤2号館 211教室
第2回		10:40~ 12:00	グループディスカッション・事務連絡等	基盤2号館 211教室
第3回~13回	8月下旬~9月中旬の間の2週間「現地実習」 (派遣期間は6月中旬頃(予定)までに決定し、通知します。)			
第14回	9月22日(金)	9:00~ 10:30	帰国後の報告会①	基盤2号館 211教室
第15回	(予定)	10:40~ 12:00	帰国後の報告会② 事務連絡	基盤2号館 211教室

※オリエンテーションを含め、事前・事後の集中講義にも必ず参加すること。

6. 申請方法と期限

【申請期限】

2023年6月13日(火) 17:00

【申請方法】

WebClassの「78913 「学生大使」派遣プログラムにチャレンジしよう(学際)(2023)」コースに参加し、申込フォームから申請してください。

【申請フォーム】

<URL>

<https://ecsyms1.kj.yamagata-u.ac.jp/webclass/login.php?id=22c6c385e94d2799f163baab932c9fde&page=1>

<QRコード>



- ※ 申請フォームにて、「パスポートの顔写真のページの写し」をアップロードしていただく必要があります。(申請期限までに提出が難しい場合、「13. 問い合わせ先」に記載の国際交流課へご相談ください。)
- ※ 応募状況により、申請期限内であっても、募集を打ち切る場合があります。この場合、WebClass等にて周知するので、随時確認してください。
- ※ 現地の情勢、状況の変化等により、希望した国に派遣できない場合があります。

7. 派遣者の選考について

「申請書」及び「成績確認表」による書類審査を行う。

- (1) グローバル社会をより深く理解する意欲のある者
 - (2) 諸外国の大学生、職員等と積極的に交流を図る意欲のある者
- おって審査後、各自へ結果を通知する。(6月下旬を予定)

8. 成績評価

【基準】

- (1) 「学生大使」としてのフィールドワークをやり遂げることが合格の最低基準。
- (2) その上で、異文化を理解し、外国人と日常的なコミュニケーションを図ることができれば、合格基準をクリアしたと評価する。

【方法】

「学生大使」としての参加態度、帰国後の報告会やディスカッション、レポート等で総合的に評価する。

- (1) 学生大使としての現地実習・・・60点
- (2) レポート(山形大学海外派遣プログラム実施報告書)・・・30点
※このレポートは山形大学ホームページにて掲載し、次年度以降の派遣学生へ紹介する。
「山形大学生海外派遣プログラム実施報告書」記載事項
 - ①氏名・所属・学年
 - ②派遣先大学・派遣期間
 - ③日本語教室での活動内容
 - ④日本語教室以外での交流活動
 - ⑤参加目標への達成度と努力した内容
 - ⑥プログラムに参加した感想
 - ⑦今後の展望※写真を2枚～4枚添付の上、Wordファイルにて作成し提出すること。
- (3) 報告会におけるプレゼンテーションやディスカッション・・・10点

【単位数】

2単位とする。ただし、本集中講義の履修による取得単位は、2023年度9月期の進級判定及び卒業判定には評価が間に合わないので、自身の単位取得状況等の詳細については、所属する学部の学務担当に必ず確認をすること。

9. 渡航準備について

下記について、各自で準備するものとする。

(1) パスポート

パスポートについては、国ごとに必要有効残存期間が異なるので、自身で必ず事前に確認し、必要な準備をすること。

(2) 航空券

利用便と手配方法については、おって指示する。

(3) 海外旅行保険

渡航日（住居から出発）から帰国日（住居に帰着）までの全期間を補償する「学生教育研究災害傷害保険付帯海外留学保険（付帯海外）」及び「危機管理システム J-TAS」への加入を必須とする（参考：2023 年の付帯海外は約 4,500 円、J-TAS は約 800 円）。

(4) 予防接種

厚生労働省検疫所ホームページや外務省海外安全ホームページ等を参考に、必要な予防接種を受けること。

(5) 外務省海外旅行登録（たびレジ）への登録

現地での危機管理情報の取得や緊急時の連絡のため、滞在先、滞在期間、渡航スケジュールが決定したら、外務省海外安全ホームページから、「たびレジ」に登録をすること。

(6) 海外渡航・留学届

海外渡航・留学届を所属する学部の学務担当に必ず提出すること。医、工、農学部の 1 年次学生については、エンrollment・マネジメント部教務課教育企画担当へ提出すること。

10. 注意事項

派遣の決定等の際し、エンrollment・マネジメント部国際交流課からメール又は電話により連絡する場合がありますので、連絡を受信できるように設定をしておくこと。

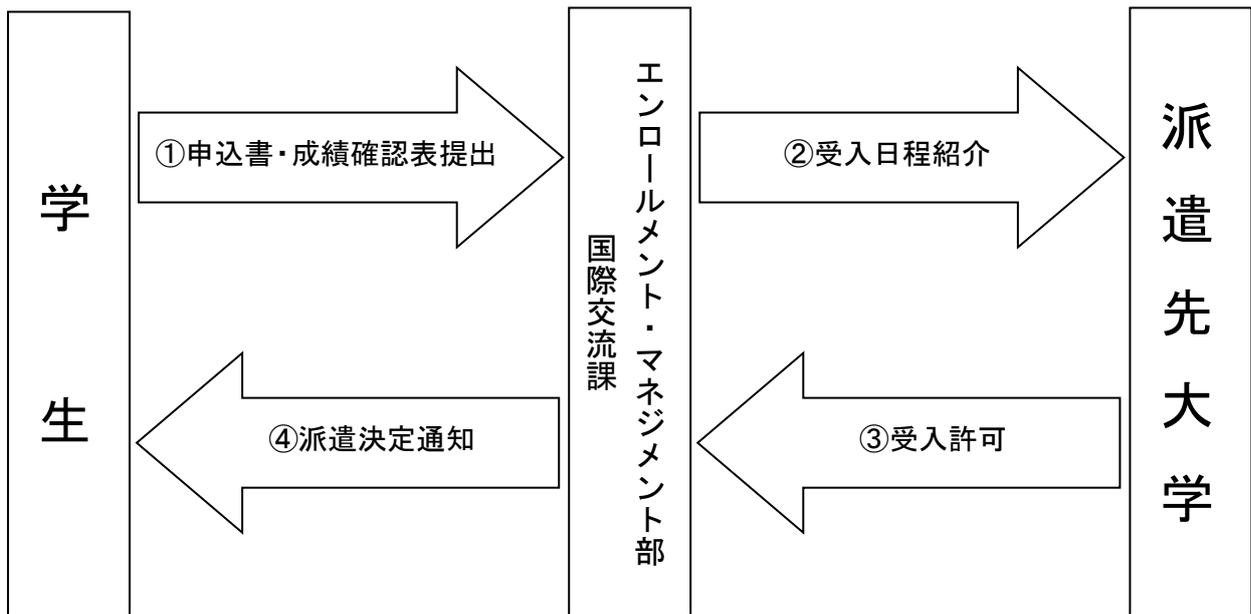
エンrollment・マネジメント部国際交流課からの連絡に応答のない場合は、危機管理に問題があるため申請を取り消すものとする。

11. 新型コロナウイルス関連で想定されること

(6 月 1 日現在の各国政府の水際対策措置を前提)

大学が事業中止の判断をした場合、支払った航空券代の一部または全額が返金されない可能性があります。その場合、領収書等の支払証明書があれば、渡航補助金の額を限度に、大学が損失を補填します。ただし、自己都合により渡航を取りやめた場合は損失補填を行いません。

12. 申請から派遣までの主な流れ



13. 問い合わせ先

エンrollment・マネジメント部国際交流課 (学生センター)

TEL: 023-628-4926

FAX: 023-628-4836

E-mail: yu-rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

派遣先大学紹介

*ここに記載の金額は、2週間滞在した場合の平均であり、為替変動や渡航時期等によっても変化するものである。

*ビザ情報については、変更になる場合があるので、各国大使館HP等で最新の情報を確認すること。

大 学 名	<p>ベトナム国家農業大学</p> <p>Vietnam National University of Agriculture 通称 VNUA</p> 
国 名	ベトナム社会主義国
都 市	ハノイ
公 用 語	ベトナム語
ビザ情報	<p>15日以内の滞在であればビザ不要、パスポートの残存期限6ヶ月以上。(前回のベトナム出国から30日以上経過している場合)</p> <p>16日以上滞在の場合または30日以内に2回入国する場合は必要となる</p>
宿泊施設	大学構内の国際学生寮またはゲストハウス
費用の目安	<p>航空券： 12.1万円 ～</p> <p>送迎費： 5.2千円 ～ 7.8千円</p> <p>宿泊費： 1万円 ～ 2万円 (部屋のタイプによる)</p> <p>滞在費： 1.9万円 ～ 5.8万円 (上記の費用を除く食費・交遊費など)</p>
治安・衛生等の 現 地 状 況	<p>治安状況：人の多い観光地や混雑するバスの車内などでは、ひったくり・スリ・置き引きが頻発している。 シクロやバイクタクシーを利用し運転手から高額請求をされたという例が多く報告されている。</p> <p>衛生状況：現在、深刻な感染症等の流行は報告されていない。6月～11月は雨季となり高温多湿となるため、食品の保存や体調管理(虫刺され対策等)にも注意が必要。</p> <p>交通事情：自動車やバイクが通行区分や規制を無視して道路に溢れている状況のため、非常に危険。道路を横断する際は、現地の学生と共に行動すること。</p>
特 記 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・本部前の池のほとりに、山形大学の記念樹が植えられている。 ・物価が安く、食事代は1食80円～300円程度。
先輩からの メ ッ セ ー ジ	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナムに行って本当に良かったと思います。何よりベトナムで会ったみんなと楽しく3週間を過ごせたことが良かったです。迷っているなら、是非参加してほしいです！ ・オシャレなカフェもあり、ベトナム人学生の友達とよく行きました。今回で2回目となりますが、プライベートでも行きたいと思うくらいとても好きな国となりました。

大 学 名	<p>ガジャマダ大学</p> <p>Universitas Gadjah Mada 通称 UGM (ウゲム)</p> 
国 名	インドネシア共和国
都 市	ジョグジャカルタ
公 用 語	インドネシア語
ビザ情報	<p>到着ビザ (VoA) の取得が必要。 パスポートの残存有効期限 6 ヶ月以上、ビザ欄空白ページが十分あることが必要。</p>
宿泊施設	大学構内ホテル (ツインルーム)
費用の目安	<p>航空券： 約 15.5 万円 ~ 送迎費： 780 円 ~ 1300 円 宿泊費： 2.8 万円 ~ 3.2 万円 滞在費： 2.6 万円 ~ 7.8 万円 ビザ取得： 4000 円 ~ 5000 円</p>
治安・衛生等 現地状況	<p>治安状況：旅行者を狙ったスリやひったくりが増えている。 衛生状況：通年 27~28 度の高温多湿の熱帯気候であり、10 月~3 月は雨季となり高温多湿となるため、食品の保存や体調管理 (虫刺され対策等) にも注意が必要。 交通事情：道路が未整備な上に通行量が多い。2 人乗りのバイクが多く、マナーや交通規則を無視した運転車も多いため、外を歩く時には細心の注意を払うこと。</p>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・インドネシアのトップ大学。日本語力が非常に高い学生が多い。 ・農学部教員の中に、山形大学出身者もいる。 ・国民の 80%以上がイスラム教徒ということもあり、大学構内にもモスクが建てられている。 ・キャンパス内では服装について規定あり (襟付きのシャツ, 長ズボン。ショートパンツ, ミニスカートは厳禁)。
先輩からの メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなとても優しくしてくれたので、心配することは何もないと思います。本当に楽しい場所なので、不安に思うことなく過ごしてください。 ・日本語をととても上手に話せる学生も多く、英会話に自信がなくても楽しく過ごせます。 ・私は 2 週間を現地で過ごしましたが、2 週間はとても短く感じています。1 か月行けるのならば、1 か月行った方がいいです。 ・学生達は英語が堪能で、こちらの言いたいことを汲んでくれるので、恐れなくてコミュニケーションを取ることが大切です。  

大 学 名	新モンゴル学園 New Mongol Academy 通称 NMA	
国 名	モンゴル国	
都 市	ウランバートル	
公 用 語	モンゴル語（国家公用語），カザフ語	
ビザ情報	30 日以内の滞在の場合，出国する予約済みの航空券を持っていればビザは不要。 パスポートの残存有効期間：モンゴル到着時に 6 ヶ月以上あり，査証欄の余白が 2 ページ以上必要。	
宿泊施設	新モンゴル学園紹介施設	
費用の目安	航空券：約 11.4 万円 ～ 送迎費：2,600 円～3,300 円 宿泊費：ホームステイ 2 万円～3 万円 滞在費：5.2 万円 ～ 7.8 万円	
治安・衛生等 現地状況	治安状況：ひったくりや強盗事件が増えている。ザハ（市場）やバスの中など人が多い場所ではスリの被害も多い。 衛生状況：冬期の石炭暖房による市街地の大気汚染が課題となっている。飲料水はペットボトルのものを購入。 交通事情：ウランバートルでは自動車の数が一気に増えたのにもない，交通事故も増加している。	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度後期から山形大学生及び職員を派遣している。 ・生徒は主に日本語を勉強している中高生（13 歳～18 歳）。 ・一年を通して晴れることが多い。冬は特に晴れるが，最も寒くなる 12 月～2 月は，平均最低気温が -25℃程度になる。 ・チベット仏教，イスラム教の他，シャーマニズムを信仰する人も多い。 ・内履き持参、教室内ではジーンズ、カジュアル過ぎる服装は控えること。 	
先輩からの メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・想像していたより、遙かにたくさんを経験できた。 ・初めて授業を経験し、教員を目指す気持ちを新たにしました。 ・ホームステイでは、朝夕手づくりの料理を出してくれた。また、何かあるごとに大丈夫かと聞いてくれて、何の不自由もなく過ごすことができた。モンゴル人の人柄も知れた。 ・広い大地にたくさんの家畜がいて、ゲルがある。教科書で見た光景が広がっていて感動した。 	